

JR北労組は、7月30日に札幌市内で第14回定期大会を開催し、討議の中で自動車支部の代議員から厚別分会で3人の加入があったことが報告された。JR北労組自動車支部では、今年5月にも新たな仲間が加入したばかりであるが、社員間の和や絆を大切にし、利用者・道民からの信頼回復に取り組むJR北労組にとって、幸先の良い年度のスタートとなった。

## JR北労組に新たな仲間が3人加入 幸先の良い年度のスタート切る！

### 自動車支部で組織拡大の輪が確実に広がる！

JR北労組自動車支部は、昨年第13回定期大会以降、1年間で6人の組織拡大を達成した。自動車支部における加入は、札幌圏を中心に複数の分会で勝ち取っており、組織拡大の輪は確実に広がっている。JR北労組によると、職場で日頃からの地道な世話役活動に取り組んだ結果が今回の加入に繋がっているという。

JR連合及び加盟する99単組81,000人の組合員は、今回加入した3人を心から歓迎するとともに、加入の呼びかけ行動をさらに強力に展開し、組織拡大につなげていただくことを要請するものである。

### 今こそ「あるべき労働組合像・労使関係像」実現を！

JR連合は、2016年度の運動方針で「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現とJR連合への総結集をめざして、民主化闘争の再構築と組織強化・拡大の取り組みを推進していくことを全体で確認した。

労働組合は、健全な「私たちの暮らしを良くする組織」であり、組合員や職場の実態・問題点を最も的確に把握する立場にあるとともに、企業の健全な発展を通じてチェック・提言機能を果たす能力を持つ。そして、社会・地域との関係や政治への適正な影響力で企業の利害を超えた社会の安定・発展・正義などを求める組織でもある。

現在、JR北海道は信頼回復と再生の途上にあるが、JR北労組が策定した「JR北海道再生プラン」の実現を通じて、安全第一で風通しの良い企業風土を確立することが私たちに求められている。

## JR連合・JR北労組への総結集で 安全第一、風通しの良い企業風土の実現を！